

「生きものと共生する田んぼづくり」セミナー開催要領

～世界農業遺産「能登の里山里海」保全に向けて～

1. 趣旨

平成 23 年 6 月に「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定されたことを契機に、地域において生物多様性の保全に対する機運が高まってきていることから、今後本県において、生きものに配慮した環境保全型農業について理解を高めることを目的に、標記セミナーを開催します。

2. 開催日 候補日 平成 25 年 2 月 25 日(月)午後 2:00～5:00

3. 主催 石川県

後援 世界農業遺産活用実行委員会、石川県有機・減農薬農業振興協議会

4. 開催場所 国民宿舎小牧台 コンベンションホール

(七尾市中島町小牧井部 55 TEL 0767-66-1121)

<http://www.omakidai.jp/>

5. 対象者 能登地区環境直接支払実施者、生きものと共生する田んぼづくり実証ほ担当農家(6 地区)、JA、行政関係者 等

6. 内容

(1) あいさつ

(2) 生きものと共生する田んぼづくり事業について

・生きもの調査結果報告(石川県農林水産部農業安全課)

・「命はぐくむ里山づくりガイド」について(石川県環境部里山創成室)

(3) 生きものと共生する田んぼづくり 講演

① 兵庫県豊岡市 豊岡エコファーマーズ 根岸謙次 氏

～コウノトリ育む農法の課題と展望(仮題)～

～ 休憩 ～

② 新潟県佐渡市 佐渡相田ライスファーム 代表補佐 相田忠明 氏

～「美味しい米と自然環境と地域資源の繋がりを目指して」～

(4) 意見交換

～今後の環境保全型農業の展開について～

コーディネーター 島田 義明(石川県農林総合研究センター所長)

=====

7 その他

午後 6:00 から、講師を交えての情報交換交流会を会費制で実施しますので、参加を希望される方は、申込みをお願いします。

「生きものと共生する田んぼづくり」セミナー講師紹介

～世界農業遺産「能登の里山里海」保全に向けて～

【兵庫県豊岡市 コウノトリ育む農法】



兵庫県 豊岡市は、日本の野生のコウノトリの最後の生息地であり、現在はコウノトリの野生復帰に向けた活動が行われています。

豊岡市では2002年からコウノトリも住める環境づくりを進めるため、農薬や化学肥料に頼らずおいしいお米と様々な生きものを同時に育む「コウノトリ育む農法」の推進に取り組んでいます。

今回、「豊岡エコファーマーズ」の根岸謙次氏を講師に迎え、「コウノトリ育む農法」の課題、展望について講演していただきます。

根岸謙次氏 プロフィール

2003年 豊岡エコファーマーズ(市内の専業農家5名)結成

ひょうご安心ブランド・エコファーマ制度を申請、取得

2006年 豊岡の農家3名にて「こうのとり大豆組合」結成

2007年 こうのとり本舗(農産物直売所)の立ち上げと同時ににおにぎり食材としてお米を提供

【新潟佐渡市 朱鷺と暮らす郷づくり】



新潟県佐渡市では、トキが餌場とする生物を育む田んぼの米を消費者に喜んで買ってもらい、トキの野生復帰を支援する環境と経済が循環する農業システムとして、「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を2008年から行っています。

今回、佐渡市から、「佐渡相田ライスファーマーミング」の相田忠明氏を講師に迎え、牡蠣殻を利用した環境保全型農業について講演していただきます。

相田忠明氏 プロフィール

2002年 佐渡市役所に勤務。その傍ら、佐渡の牡蠣殻を使用した、環境保全型農法に稲職人の父、相田康明と共に取り組む。

2010年 佐渡市役所を退職、専業農家として「佐渡相田ライスファーマーミング」を立ち上げ

2013年 2月に法人化、「相田家産佐渡スーパーコシヒカリ」ブランドで直接販売

現在水稲13haを栽培。栽培品種はコシヒカリ、こしいぶき、酒米越端麗

水稲栽培のほか、世界農業遺産ジアス佐渡検討委員会・佐渡伝統芸能鬼太鼓団体新穂

中央青年会 H23 会長・佐渡市消防団・新潟県バレーボール協会参与・新潟県ビーチバレー

一連盟副会長など様々な地域活動に活躍